

プラント設計業務改革

日本ゼオン 熟練ノウハウ見える化

日本ゼオンは、SOJした業務改革を実現し、LIZE Ureka 安定・安全生産の Technology 要となるプラント設計の寄与も期待される。y(東京都千代田区)と業務の効率化と品質向上につなげ、競争力の定・安全生産に求められるプラント設計業務

の効率化と、品質向上が課題となっていた。その一つに、化学プラント設計で重要とされるP&ID(配管計装図)の作成およびレビュー業務が挙げられる。P&IDは設計から建設、運転、保守までのエンジニアリングの基本となる重要資料

で、作成には高度な知識や経験が求められる。そのため、属人化や知見活用の観点で課題を抱えていたという。日本ゼオンとSOJ LIZE Ureka Technology は、当該業務のプロセスを見える化し、暗黙

知のノウハウを言語データとして整理したシステムを構築した。同システムでは単なるデータの蓄積ではなく、活用しやすいノウハウの形式知化を定義することで、設計者が必要な情報を一目で瞬時に判断することを可能にした。また、設計

者の「探しやすい」に着目したプラットフォームを整備することで、迅速なデータ参照を実現した。形式知を組織の資産として蓄積できるうえ、業務効率化や設計品質向上などの効果が生まれているという。

今後、データ蓄積や分析、AI(人工知能)との連携といった技術導入を進め、さらなる安定・安全生産体制と持続可能なモノづくりの実現につなげる。